

2017年11月9日

各位

小野薬品工業株式会社

スイスNeurimmune社と神経変性疾患領域で創薬提携契約を締結

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良暁、以下、当社）は、Neurimmune Holding AG 社（スイス チューリヒ市、最高執行責任者：Michael Salzmann、以下、Neurimmune 社）と、本日、神経変性疾患領域における新規創薬標的に対する抗体医薬品の創製を目的とする創薬提携契約を締結しましたので、お知らせします。

今回の契約締結により、当社は創製される抗体を全世界で独占的に開発・商業化する権利を保有します。当社は契約一時金を支払うとともに、提携期間中の研究資金、研究開発の進捗に応じたマイルストーン、および上市後の売上高に応じたロイヤルティを支払います。Neurimmune 社は研究資金の提供を受け、同社独自の抗体医薬創出アプローチである Reverse Translational Medicine™ 技術を駆使し、当社が選択した創薬標的に対するヒトモノクローナル抗体を創製します。

当社の執行役員研究本部長である巾下広は、「当社は、Neurimmune 社の抗体創出技術（Reverse Translational Medicine™）を高く評価しています。今回の提携を通じて、神経変性疾患領域における革新的医薬品の創製につながることを期待しています」と述べています。

Neurimmune 社の最高科学責任者である Jan Grimm 氏は、「我々は、これまで革新的医薬品を世界に届けてきた小野薬品と提携できることを非常にうれしく思っています。この提携により、我々の Reverse Translational Medicine™ 技術を駆使して医療ニーズの高い疾患領域で革新的な医薬品を創製できるものと期待しています」と述べています。

Neurimmune 社について

Neurimmune 社は、医療ニーズの高い重大な疾患に対する治療と予防を目的としたユニークなヒト抗体の開発に注力するバイオベンチャー企業です。チューリヒ大学（スイス）からのスピノフによる会社として、2006年に設立されて以来、遺伝子組み換えヒト抗体の領域において急成長しており、創薬段階と臨床開発段階に有望な抗体医薬品候補を有しています。その中には、米国 Biogen 社がアルツハイマー型認知症を対象に第Ⅲ相臨床試験を実施している Aducanumab や第Ⅰ相臨床試験を実施している BIIB054、パーキンソン病を対象に第Ⅰ相臨床試験を実施している BIIB076があります。

Reverse Translational Medicine™技術について

Reverse Translational Medicine™技術は、Neurimmune 社が持つ独自の高速スクリーニング法で、健常高齢者など特定の集団が保有する病原性蛋白に対する免疫応答機構を科学的に応用することにより、効率よくヒト抗体を創出することができます。Neurimmune 社のヒトモノクローナル抗体は、人類が進化の過程で獲得した免疫機構に由来する抗体であり、ヒトの体内で最適化されていることから、ヒトでの卓越した有効性と安全性を提供できると考えられています。Neurimmune 社の分子工学技術は、ヒト由来抗体として望まれる免疫生物学的特徴を有しており、高度に最適化されたバイオ医薬品の新たな世代の薬剤を創出します。Neurimmune の治療用抗体は、優れた生物物理学的、薬理学的および安全性の特徴により、ファーストインクラス、ベストインクラスの革新的抗体医薬品を創出することが期待されています。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

小野薬品工業株式会社 広報部

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950